

第50回 熊本市PTAソフトバレー ボール大会実施要項

「さわやかな汗に会員相互の交流と親睦を深めよう」を合言葉にソフトバレーボール大会を実施いたします。

令和5年9月2日（土）9時～ 西・北区 13時～ 南区

9月3日（日）9時～ 東区 13時～ 中央区

各区会場

熊本市PTA協議会

厚生委員会

試合について

- 1 6人制のソフトバレーボールですが9人制バレーボール競技規則を基本とします。
- 2 詳細は「熊本市PTAソフトバレーボール大会競技専用ルール」に定めます。
- 3 使用する施設の規則を守り、後片付けをきちんとしてください。
- 4 **審判は選手の相互審判でありプロの審判ではないので、ご理解の上、和やかな大会になるようご協力ください。**

大会の運営方法について

- 1 参加校を各会場に分け、予選のリンク戦を行います。各会場は、5つの区を基準として分けられます。(対戦相手は同区のチーム)
尚、中学校・小学校の別、学校規模による区別はありません。2チーム出場の場合は、同じ予選のリンクにならないよう振り分けます。
- 2 決勝：各会場の各コートリンク戦の1位チーム同士で優勝校決定戦を行います。
尚、1コートのみ使用する会場ではコートリンク戦1位チームが優勝となります。

参加資格とチーム編成

- 1 出場選手の6名のうち女性3名以上で構成して下さい。A区分(教職員)の人数は任意となります。
メンバーチェンジ要員は最多8名まで(8名メンバーチェンジの場合は、別セットは4名まで)認められますが、1セットと2セットに重複して出場することは出来ません。チームとしては、最小12名が必要になります。また、最多24名まで登録できます。
- 2 1セットと2セットでは選手はメンバーチェンジ要員を含め、総入れ替えになります。
- 3 決勝戦の第3セットに限り(チーム構成のルールを厳守の上)ベストメンバーで出場することが出来ます。
- 4 年齢制限はありません。
- 5 小学校、中学校の両チームに同じ人は所属できません。(どちらか1チームのみ)
- 6 試合中に何らかの理由により、規定のチーム構成規則が守られなくなった場合には、試合は続行されますが、オープン参加扱いとなり、順位決定の対象外となります。
- 7 参加メンバーが集まらない等の理由により、同じ区または同じ中学校区の学校であれば合同チームは可。
- 8 大会当日(試合開始前までに)にメンバー表(様式3)、選手登録表(様式6)を提出ください。

競技上の各種注意事項

1 ゼッケンのつけ方

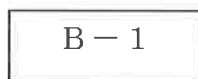
(1) チーム名 : 原則として、後背部につけてください。

(2) 選手区分ゼッケン (ルール①もしくは②のゼッケンを用意ください)

ルール①: 長さ18cm×幅13cm程度のゼッケンを下記の要領で作成し、背部につけてください。



A 教職員



B 男性保護者



C 女性保護者

ルール②: ゼッケンの大きさは定めず、1～12以上の数字
(数字が被らなければ、ビブス可)

ゼッケンをつける際は、けが防止のため安全ピン類は使用しないで下さい。

2 ベンチ

ベンチには、監督・マネージャー・選手・世話係(3名以内)以外は入ることができません。世話係の人は、単位PTAの腕章をつけてください。

3 けがの防止について

(1) 準備運動を各自十分に行うとともに、練習では無理のないようにご配慮ください。

(2) けが・事故の発生については、**熊本県PTA共済の適用対象内です(各単P行事としての練習も含む)。尚、試合当日は別途保険に加入いたします。**

※所属チームの学校に所属する子供のみ、保護者の応援であれば保険適応となる。

ただし試合会場外での事故は適応外 詳細は必ず、所属チームのPTA共済担当者にご確認ください。

(3) 腕輪・ピン・指輪・時計・かぶりもの・その他の金属装身具などは、危険防止のためにも試合中は、はずしてください。

4 審判について

(1) 審判をされる方は、「熊本市PTAソフトバレーボール大会審判要領」に従い、試合の進行をお願いします。

(2) 試合がない学校から計8名(主審・副審・ラインズマン4名・点示員2名)、審判にご協力下さい。

5 競技規則・使用ボール、タイム等について

競技についての詳細は「熊本市PTAソフトバレーボール大会競技専用ルール」に定めます。

※試合中にけがや事故が発生した場合には、必ず本部まで報告し適切な処置をお願いします。救急車等は本部で手配します。

6 順位の決定方法

- (1) 各試合で2セット獲得を「勝ち」、1セット獲得を「引き分け」、0セットは「負け」とカウントする。
- (2) 「勝ち」が最も多いチームを順位1位とする。
- (3) 「勝ち」が同じ場合、「引き分け」が多いチームが順位1位
- (4) 「勝ち」及び「引き分け」が同じ場合、下記判断を行う。
 - ①総得点の高いチームが上位
 - ②総失点が低いチームが上位
 - ③代表5人による「じゃんけん」で決定

7 会場内の整理・整頓・清掃、施設利用について

- (1) 間食等の後始末は各チームで確実に実施し、ゴミは持ち帰りください。
(会場のごみ入れ等は使用しないでください。)
- (2) 学校が会場の場合、厚生委員の指示に従い最終試合の両チームを中心に全員で、トイレ清掃などを実施してください。
- (3) 体育館内は土足禁止です。「土足禁止」の表示には留意・遵守してください。
尚、敷地内は禁煙です。(公共施設については施設のルールに従ってください。)
なお、学校が会場の場合、体育館以外の教室等には立ち入らないでください

8 駐車場について

- (1) 車については、各会場ともに駐車スペースが限られていますので、**各校割り当ての台数で乗り合わせ**をお願いします。
- (2) 駐車は指定された場所のみ使用してください。各学校の運動場内には許可のない限り絶対に乗り入れないようにしてください。周辺の商業施設、路上などへの駐車は絶対にされないようにしてください。

9 その他

お子様と来られる場合は、けが防止のためにもコート内に入ったり、駐車場で遊んだりしないようご注意ください。

当日の日程

9月2日(土) 9時～西区、北区 / 13時～南区

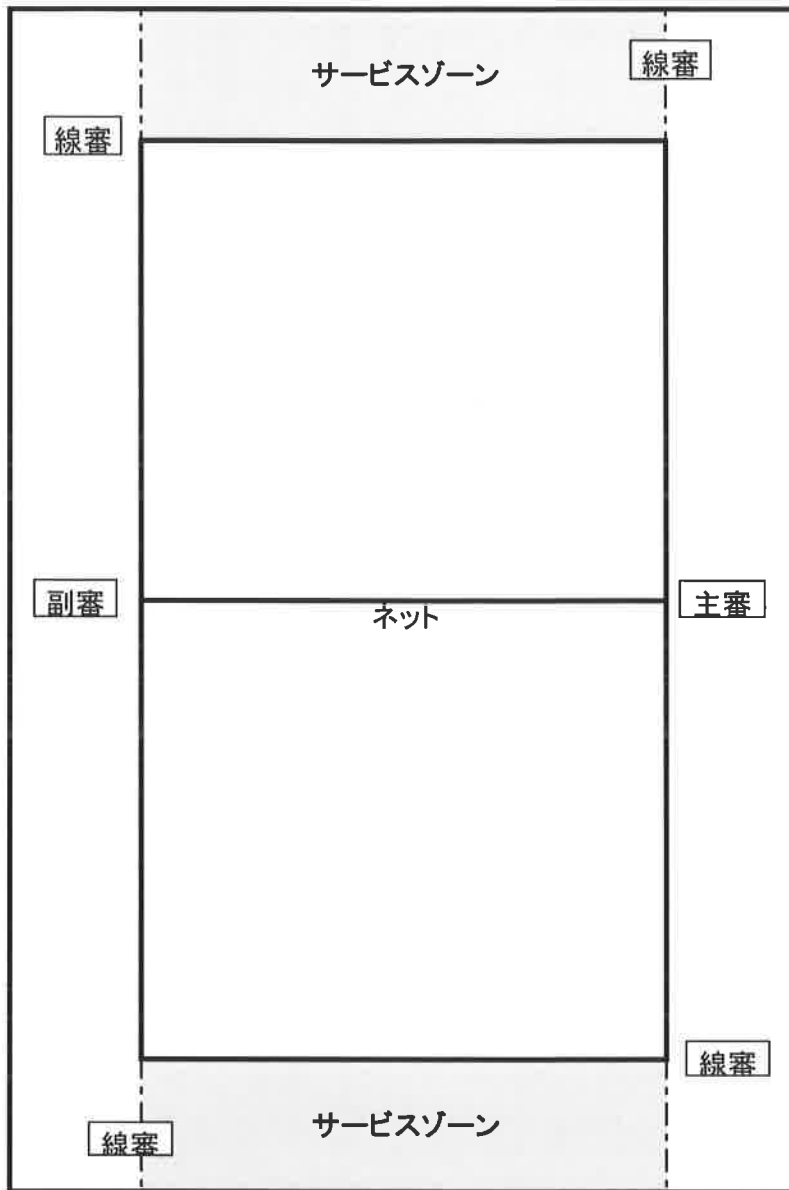
9月3日(日) 9時～東区 / 13時～中央区

※ () 内は午前スタートの場合

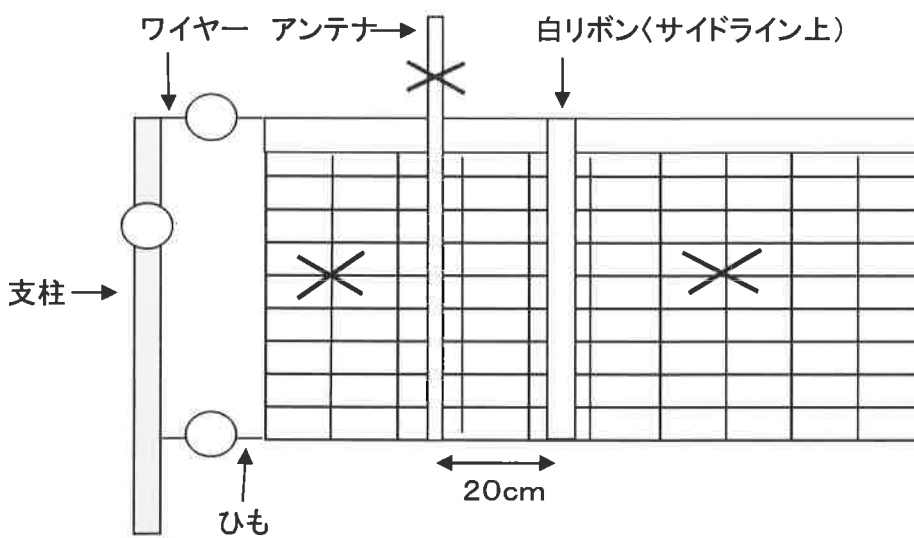
※ 各学校2名、当日の準備、駐車場誘導などご協力ください。

11:45 (7:45)	各学校2名、会場校に集合(駐車場管理、会場設営の説明)
12:00 (8:00)	駐車場への誘導・整理/会場・コート設営作業
12:30 (8:30)	練習開始
12:45 (8:45)	主審・副審予定者は本部前に集合、競技規則等の確認
13:00 (9:00)	開会式
	①開会宣言 厚生委員(司会進行)
	②挨拶 市P理事
	③挨拶 会場校校長
	④選手宣誓 抽選番号A-1の単P
	⑤予選進行の説明 厚生委員
	⑥諸連絡 会場校
	⑦準備体操 厚生委員
開会式終了後	試合開始(第1試合前までに選手登録表とメンバー表を提出)
試合終了後	閉会式
	①開会 厚生委員(司会進行)
	②成績発表並びに表彰 会場校校長又は市P理事 →優勝校校歌演奏(CD等)
	③閉会宣言 厚生委員
17:00 (13:00)	終了予定

(別図1)



(別図2)



×に触れれば反則
○は触れてもプレーに影響なければセーフ

令和5年度 熊本市PTAソフトバレーボール競技専用ルール

(1) コート、ネット、アンテナ、ボール (別紙、別図1・2)

- ① コートサイズ
 - ・長さ 18m、幅 9m
 - ・センターライン、アタックラインはなし。
 - ・ライン幅は、コートの大きさに含まれる。
- ② ネットの高さ
2m30cm
- ③ アンテナ位置
両サイドライン (ネットの白リボンと一致) より 20cm外側
- ④ 試合ボール
ソフトバレーボール
日本バレーボール協会検定球/日本ソフトバレーボール連盟公認球
外周 78±1cm、重量 210±10g
参考 (メーカー型番 MIKASA : MSN78)
※ 糸巻きタイプは、試合には使用しない。

(2) チーム、ポジション及びチェンジコート

- ① 6人制。ローテーションは無し。ポジション変更は自由とする。
- ② サーブが打たれる前でも、選手はコート外に出てもよい。
- ③ 1セット目と2セット目のコート内の選手は、メンバーチェンジの選手も含めて全員異なるものとする。ただし、各セットともに6名のうち女性が3名以上で選手構成するものとする。
- ④ セットが代われれば、コートを代わる。(チェンジコート)

(3) 点数とセット数

- ① 1セット21点制、デュースなし2セットマッチとする。
- ② 決勝戦のみ21点制、デュースなし3セットマッチとする。

(4) サーブ

- ① サーブは1本で、ラリーポイント制とする (失敗した場合は、相手のポイントになる)。
- ② サーブは、エンドラインを踏まなければサイドラインの延長線に挟まれたサービスゾーン (別紙、別図1) のどこから打ってもよい。
- ③ サーブの打ち方 (下手サーブ、フローターサーブ、ドライブサーブ、ジャンピングサーブなど) に制限はない。

- ④ サーブを打つ態勢で一旦トスを上げたボールを打たなかった場合は、フォルト（失敗）となる。やり直しはできない。
- ⑤ サーブしたボールがネットに接触した場合は、フォルト（失敗）とする。
- ⑥ サーブ順は各セットで変更できるが、セット毎に提出されたメンバー表のサーブ順に従って行う。メンバーチェンジした選手もチェンジ前の選手の順番でサーブしなければならない。
- ⑦ サーブは、主審のホイッスル後、8秒以内に打たなければならない。
8秒以内に打たなかった場合は警告し、繰り返した場合はサービスミスとする。
- ⑧ サーブを最初に打つチームは、試合開始時にジャンケンで決める。セットが変わり、次のセットの最初のサーブは前セットの最終サーブを打ったチームではないチームが打つ。

(5) 打球とネットプレー

- ① ボールは身体の中の部分で触ってもよい。
- ② ボールに触れる際に身体の一部で静止した状態になってはいけない。「ホールディング」の反則。
- ③ 味方コートに入ってきたボールは3回まで触れることができる。
2回以下で返してもよい。3回の接触のうち同じ選手が2回触れてもよいが、2回続けてボールに触れてはならない。「ドリブル＝ダブルコンタクト」の反則。
ただし、相手コートからの最初（第1打）をレシーブする際のみ、身体の2ヵ所で触ってもよい。
- ④ ブロックの接触も1回と数える。
- ⑤ サーブ以外のボールがネットに接触しても反則ではない。
- ⑥ 1回目でも、2回目でも、3回目の接触後でもボールがネットに触れたときは、もう1回だけ余計に触れてもよい。（ただし、この特例のネット接触は1回までとする。この場合、同じ選手が2回続けて触ってもよい。）
- ⑦ ブロックの時は、ボールがブロッカーに2度以上あたっても、瞬時の場合はドリブルにはならず、1回と数える。
- ⑧ ブロックしたボールに同じ選手がもう一度触れても良いが、瞬時ではない場合は2回と数える。
- ⑨ サーブが打たれてから、ポイントが決まるまでの間、選手はネットに触れてはならない。「ネットタッチ」の反則。
ただし、ボールの流れとは関係のない場面でのネットタッチは反則ではない。
（この場合のネットとは、マーカーアンテナよりも外側の部分も含む。）
ただし、ネットを引っ張るワイヤーと紐、ネットを支える支柱に触ってもよい。
（別紙、別図2）

熊本市 PTA ソフトバレーボール大会 審判要領

- (1) 各チームは主審・副審用のホイッスルを2個準備してください。
(コートに1台ずつ電子ホイッスルを厚生委員会より貸出いたします)
- (2) 主審・副審は、審判時には秒針付きの時計を使用してください。
- (3) 試合開始時刻になったら、主審は両チームの主将を呼んで、ジャンケンにより勝った方がサーブ権又はコートのいずれか一つを選び、勝ったチームから3分間の公式練習を直ちに開始させてください。
- (4) ラインズマンは、副審からメンバー表(様式3)を受け取り、出場選手と相違ないかの確認をしてください。
- (5) 両チームの全員が、エンドラインにネットに向かって右を先頭に整列し、主審のホイッスルの合図で挨拶をして試合開始とします。
- (6) 副審のホイッスルで、スターティングメンバーのみがネットに背を向けてエンドラインに左からサーブ順に整列し、副審が選手区分構成(ゼッケン)をチェックし、セットの開始とします。
- (7) 試合と試合の間隔は2分間。
- (8) 試合終了時には、直ちにコート上の選手がエンドラインに整列し、主審のホイッスルの合図で挨拶をします。
- (9) 試合終了後直ちに、点示員は点数記載カード(点示員用)に記入し、本部に勝敗と点数を報告し、試合表に記載します。
- (10) 審判校は、主審・副審・ラインズマン4名・点示員2名の計8名の選手を審判要員としてご協力願います。

競技規則・使用ボールについて

- (1) 熊本市PTAソフトバレー競技専用ルールを良くお読みください。
- (2) タイム、メンバーチェンジについて
 - ① 1セット中に、対戦中のチームがそれぞれ2回のタイムを取ることができます。(1セット中に最多4回のタイムを取ることができます。)
 - ② タイムは、1回につき30秒間で、連続して2回分を取ることもできます。
 - ③ メンバーチェンジは、タイムとは別のものです。
 - ④ 1セット目と2セット目のメンバーチェンジ要員は重複することは出来ません。
- (3) 試合に使用するボールは、次のとおりとします。
円周：78±1cm、重量210±10g
MIKASA:MSN78
- (4) セットとセットの間の休憩は2分間です。

- (5) 第1セットと第2セットの選手は、総入れ替えになります。試合前には、必ずメンバー表を副審に提出してください。用紙は、本部にありますのでご利用ください。
- (6) 点示員の方は、試合終了後直ちに結果を本部に報告し、内容を試合表に記入してください。
- (7) 試合中にけがや事故が発生した場合には、必ず本部まで報告し、適切な処置をお願いします。救急車等は本部で手配します。
- (8) けがのないように、各自で十分なストレッチ・ウォーミングアップをお願いします。
- (9) 決勝戦の第3セットに限り（チーム構成のルールを厳守の上）ベストメンバーで出場することが出来ます。

順位の決定方法

- (1) 各試合で2セット獲得を「勝ち」、1セット獲得を「引き分け」、0セットは「負け」とカウントする。
- (2) 「勝ち」が最も多いチームを順位1位とする。
- (3) 「勝ち」が同じ場合、「引き分け」が多いチームが順位1位
- (4) 「勝ち」及び「引き分け」が同じ場合、下記判断を行う。
 - ①総得点の高いチームが上位
 - ②総失点が低いチームが上位
 - ③代表5人による「じゃんけん」で決定